

71

2006年10月10日

大阪薬科大学 同窓会報



大阪薬科大学同窓会報 第71号 目次

ごあいさつ	絆を深め愛を育みましょう！	同窓会会長 平澤 一 男… 1
	学校法人大阪薬科大学をとりまく諸問題	法人理事長 矢内原千鶴子… 2
	同窓会の皆様へ～思いつくままに～	大学学長 栗原 拓史… 3
同窓会平成18年度総会	総会報告……………	4
	平成17年度会務報告・収支決算書・保有金額と保有状況……………	5～7
	備品一覧表・100周年記念誌収支予算書……………	8
	平成17年度監査報告、平成18年度事業計画・収支予算書……………	9
母校だより	第41回大薬祭……………大薬祭実行委員長 山田 雅貴…10	
	第91回薬剤師国家試験の結果と本年度薬学総合演習の対策について	
	国試対策委員長 藤田 芳一…11	
	教室・研究室紹介(18) 臨床薬剤学教室 教授 田中 一彦…12	
	第4回同窓会研究助成を拝受して 薬理学教室助手 幸田 祐佳…13	
	教授就任の挨拶 藤田芳一・濱中久美子・松島哲久・藤本陽子・土井光暢	
	田中麗子・高岡昌徳・浦田秀仁・荒川行生……………14	
支部だより	兵庫県支部……………	18
クラス会だより	昭和12年会・翠晶会(昭和24年)・昭和30年会・昭和51年会……………	19
会員投稿	薬剤師と鍼灸師 S45 谷口 和久…21	
	懐かしの高見の里学舎 S48 畑 秀子…22	
母校周辺散策コース	酒造りと古寺の町・文化財の宝庫・四季の彩りと溪谷美……………	23
同窓会会則の改正……………	10	同窓会事務局からのお知らせ……………28
同窓会本部役員・支部役員リスト……………	10	同窓会補助金規定……………28
クラス幹事リスト……………	10	物故者のお知らせ……………28
第23回大阪薬大 OB ゴルフ大会……………	22	母校学位記授与式のご案内……………29
平成18年度公開教育講座……………	24	平成19年度総会のご案内……………29
同 ご案内……………	24	幹事等異動……………29
平成18年度市民講座……………	25	写真集配布について……………29
同 ご案内……………	25	表紙説明 森本 政文…29
平成18年度入試結果・19年度入試概要(予定)……………	26	編集後記……………29

平成19年 新年互礼会開催のご案内

日時：平成19年1月28日(日) 正午～15時(予定)
(受付は11時から行います)

会場：ホテルグランヴィア和歌山
6F「葵の間」
〒644-8342 和歌山市友田町5丁目18番地
TEL 073-425-3333 FAX 073-422-1871

交通：JR 和歌山駅 正面出口 徒歩1分

会費：5,000円

担当支部：和歌山県支部(紀薬会)
支部長 常風 潤一

*会場は支部持ち回りで、平成20年は滋賀県支部の担当(予定)です。

*講演はありません。

*新年のご挨拶と親睦の場として下さい。

*途中からお出でいただいても結構です。

*ご出席をご希望の方は、ハガキ又はFAX 072-690-1099にて同窓会室宛お申込み下さい。なお、幹事及び近畿地区在住の本年度会費納入者の方には、後日案内状をお送りします。

*多数のご参加をお待ちしています。



絆を深め愛を育みましょう!

大阪薬科大学同窓会

会長 平澤 一男 (S33)

さわやかな風とともに、山々や木々が色づき、すっかり秋色の季節になりました。

同窓会員の皆様にはますますお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

皆様には平素から同窓会活動に深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、役員一同、心から厚くお礼申し上げます。

安全と安心を言い続けなければならないのは、この国に不安や不信が充満しているからでしょうか。同窓会には解決を急がなければならない問題は見当たりませんが、無言の課題は会員の数だけあると思います。声なき声にも耳を傾けながら、会への関心を高め、運営にも参加していただけるよう、また会費を納めていただけるようお願いしつつ、会の充実、発展に努めて参ります。同窓会は会員の会でありますから、会員の思いが通じる会にしなければなりません、会員の思いを超えた会にはなりません。皆様の思いを会の運営に反映させるためにお願いします。思いを声に出して、文字にしてお寄せください。

○ 移り変わる薬学教育制度

…専門から大学、そして今年から6年制へ…

4月から薬学教育が6年制になりました。少子化で受験生が減る時代に逆行して薬科大学(薬学部)が乱立(66大学)し、入学定員が大幅に増えました。競争倍率が低下し、定員割れの大学が出る中、母校は今年の入学定員を確保されました。伝統と優れた教育陣、恵まれた環

境・施設、国家試験の高い合格率などに支えられたとは言え、理事長、学長をはじめ現教職員の並々ならぬ尽力の賜物と敬意を表する次第です。

○ 絆、愛、相互信頼が、より価値を高める時代に…言葉だけに終わらせない行動を…

同窓生の絆は共有する情報の量と質に比例し、同窓会に関わっていただける皆様の数と時間に比例して同窓愛は育まれると思っています。同窓生の皆様には在校生や受験生、保護者に対し、将来にわたり実社会における安心感と夢を与え続けてください。

○ フットワークを使って会合にご参加下さい

…健康にはネットワークよりフットワークを…
メタボリック・シンドロームは環境の変化による「食の乱れ」と「運動不足」に起因すると考えられます。同窓会が関係し、皆様にご参加いただける会合は会報でご案内いたします。会合では体温が感じられ、心音が聞こえる距離で、お互いの近況(健康状態や活動状況など)を確かめ合うことができます。そこには守口や高見の里、高槻の香りに包まれた、ほっとできるひとときがあり、本物のコミュニケーションに出会えます。

これからも母校との連携、協力を努めつつ、知足、無為で会を運営して参りますので、引き続きご教示、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



学校法人大阪薬科大学をとりまく諸問題

学校法人大阪薬科大学

理事長 矢内原 千鶴子

同窓会の皆様方には、常日頃母校大阪薬科大学の動静に種々ご心配を頂いていることと存じます。特に、本年度発足いたしました新しい薬学教育制度のもとで、本学がその制度にどう対処し、特色ある教育を実現して行けるかが、学内においても最重要課題となっております。これはひとり教学の問題ではなく、むしろ学校法人大阪薬科大学が最終責任を負わねばならない課題であり、その為法人（理事会）に正しい自覚と強い信念とリーダーシップが求められるといえましょう。平成 17 年 4 月 1 日より「私立学校法」は大きく改正され、学校法人の責任は従来と比べべくもないほど重くなりました。学校法人の最も主要な業務が学校管理であるとされ、大学（教学）に対しても正当な合理的な管理が求められています。大阪薬科大学の現状は、新しい薬学教育に向けての計画と意欲と熱情において、いまだ十分といえる域に達していないと言っても過言ではありません。著しい数の新設校が設置され、多様な新しい試みが次々と打ち出されている中で、伝統校という過去の積み重ねのみに頼っている時ではないのは誰もが認めるところであります。こうした状況の下、学校法人大阪薬科大学は、率先してその重責を果たすべく、努力して行く覚悟を一層強くしているところであります。

新しい薬学教育制度の制定にともない薬学部・薬科大学の設置基準も改定され、その中で教員数の大幅な増員が求められました。すなわち、4 学年から 6 学年に増加し学生数は 1.5 倍となり、また医療薬学系教育並びに実務実習の充実の必要性から現状の約 1.5 倍の教員（助手を除く）数が必要となりました。そこで新 6 年制薬学部薬学科設置の為の文部科学省への申請に際し、学内でも多く（17 名）の教員昇任人事が行われました。結果として本年 9 月 30 日現在、教授 25 名、助教授・講師 27 名、助手 15 名となりました。優秀な先生

方が、業績にふさわしい地位を得て、心新たに教育・研究に今まで以上に活躍されることと大いに期待しているところであります。特にその中で教授 11 名(44%)、助教授・講師 18 名 (67%)、助手 12 名 (80%) が本学卒業生であることは、100 年の歴史の中で育まれてきた、本学の人材養成の伝統が実を結んだことの証の一つであると心より嬉しく思っております。唯、物事には必ず陽と陰があることはいうまでもありません。70 名に近い教員（助手を含む）の 61% が本学出身者でしめられた現状において、本学の将来に向かって教育・研究への燃える熱意と母校への愛情はますます強められることは極めて嬉しいことと思いますが、一方では、集団の均一性からくる諸々の不安や危惧も否定できず、大学の活性化も含め、教員の意思決定に十分な公正性、客観性、柔軟性、社会性が保たれ、学問の府に恥じない論理性と良識と正義を備えた教育・研究に関する大学運営がなされることを願って止まないところであります。

本学では過去において教員・事務系職員の人件費の対学生納付金比率（人件費依存率）が 70 数%まで上昇し、経営的に危機的状態となり教員人事が停止された苦い経験があります。今回の教員人事の大幅な動きについても同窓会会員の中にはご心配頂いている方々がおられるやに聞いております。平成 17 年度の本学の人件費依存率は 53.5%でありました。望むらくは 50%の維持ではありますが、新制度導入に対処するため、しばらくは或程度の超過も止むを得ないところと考えます。経常的な他の諸経費については極力抑制・節減に努めているところであります。

学校法人大阪薬科大学をとりまく諸問題の中で特に重要なものについて取り上げさせて頂きました。今後とも何卒よろしくご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。同窓会会員の皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



同窓会の皆さまへ～思いつくままに～

大阪薬科大学

学長 栗原 拓史 (S37)

同窓会員の皆さまには、ご健勝でお過ごしのことと存じます。常々、母校への絶大なご支援、ご協力をいただき、心から厚く御礼申し上げます。

秋色が深まる候となりました。梅雨明けが遅れ、連日の厳しい暑さの中、例年のことながら阿武山の麓では、「クマゼミ」から朝夕には「蜩」の寂しげな鳴き声に、そして「つくつく法師」へと季節は着実に移ろいでまいりました。この時季になると、かの有名な歌 <秋きぬと 目には さやかに 見えねども 風の音にぞ おどろかれぬる> (藤原敏行、古今集) が思い浮かんできます。

さて、次年度も薬学部志願者減少が予測されています。それへの対応として、入学試験科目に若干の変更を加えて受験生への負担軽減を図るとともに、新たに指定校制推薦入試を導入し、既にそのための活動を開始しています。学外への広報活動にも一段と力を入れると同時に、高等学校や予備校の大学進学指導者への説明会(6月)と3度にわたるオープンキャンパス(7～8月)を開催してまいりました。幸い三日間の延べ参加者数は昨年を上回り安堵しているところです。

薬学教育6年制元年の1年次生は、前期期間中に多くのことを学び、体験しました。初めての大学でのテストを経験し、各自が入学前とその後についていろいろと思いをめぐらせていることでしょう。我々も前期テスト結果を分析して、6年制スタートの結果を今後にかかしていくことが必要と考えています。さらに、本学が持つ「附属薬局」も活用しながら、将来への動機付けを早期に確立するためのEarly Exposure「早期体験学習」を実施しています。また、各自の将来像をイメージさせる意味で、①製薬企業の研究者による創薬の

楽しさと厳しさ ②病院薬剤師の実態 ③開局薬剤師の実態についてそれぞれの分野でご活躍中の先生方から話していただき、レポートを書かせました。私自身の予想を遥かに超えたインパクトのあった事がそれを読んで感じ取れました。こうした体験を通して、薬剤師は科学者であると同時に、患者さん、医療チームのスタッフから信頼される人間性豊かな人格とコミュニケーション力の必要性を感じ取ってくれたと期待しています。

さて、昨年度薬剤師国家試験の新卒者合格率は全国第2位(93.3%)で、ここ数年極めて安定した結果を保っています。受験生の頑張ったことはもとよりですが、本学の教員の努力と学部教育体制の成果であろうと考えています。オープンキャンパスでは、受験生に対し「君たちが大学を選ぶ際のポイントは二つある。一つは高い薬剤師国家試験合格率であり、二つには伝統校にふさわしく社会で活躍する多くの同窓会員の力」であることを強調することが出来ました。誠に有難いこととございます。併せて、同窓会から①学部卒業生のうち成績優秀者への同窓会賞 ②全卒業生への記念品 ③若手研究者(教員)への研究助成金 ④大学祭への援助金(今年度は例年の倍額) ⑤本学市民講座共催 ⑥本学公開教育講座後援をはじめとする多方面にわたるご援助を賜っており、重ねて厚く御礼申し上げます。

なお、最後になりましたが、大村栄之助元理事長がお亡くなりになりました。先生のご英断なくして、全面移転という大事業はあり得なかったと思います。先生から建設委員長を命ぜられ、働かせていただきましたことを誇りに思うと同時に感謝申し上げ、皆さまと共に心からご冥福をお祈り申し上げる次第です。

大阪薬科大学同窓会 平成18年度総会

平成18年5月28日(日) 於 ザ・ベルタ北浜



平成18年度総会が、去る5月28日(日)午前10時よりザ・ベルタ北浜にて開催された。福家清美(S38)さんの司会で始まり、平澤一男(S33)会長が挨拶に続き、議長として議事に入る。報告事項および審議事項共に議案通り承認された。

本年度は、(財)日本薬剤師研修センター認定の研修会として、公立学校共済組合近畿中央病院薬剤部長 鈴木芳郎(S49)先生により、「NST(栄養サポートチーム)と薬剤師-薬剤師を取り巻くNSTの話題と課題-」の演題で講演があり、その後写真撮影を行った。

懇親会は藤井政善(S49)さんの司会で開宴され、平澤一男会長の挨拶の後(写真左上)、大阪薬科大学同窓会研究助成金が幸田祐佳(H8)薬理学教室助手に授与された。



続いて、母校よりご来賓の栗原拓史(S37)学長および矢内原千鶴子理事長からご挨拶(写真左下)を賜った後、梶川益美(S29)相談役の乾杯で宴が始まる。母校より、学生部長の木村捷二郎(S39)教授、就職部長の田中一彦教授、高岡昌徳(S53)新教授、田中麗子(S49)新教授、松島哲久新教授にご出席頂きました。最後に筑紫和子(S26)副会長の閉会の辞でお開きになった。



講演会
講師・鈴木芳郎(S49)先生
と会場風景



会 員 数

平成18年4月1日現在 14,844名 (内不明者 2,881名)

平成17年度 会 務 報 告

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

総 会

開催日 平成17年5月22日
場 所 アピオ大阪 (会報69号掲載)
議 事

- 1) 平成16年度会務報告について承認を求める件
 - 2) 平成16年度決算報告について承認を求める件
 - 3) 新役員紹介
 - 4) 平成17年度事業計画案について承認を求める件
 - 5) 平成17年度収支予算案について承認を求める件
- 議 長 有田 浩和 (S44)
原案通り承認した。

- 4) 個人情報の取扱について
- 5) 保有財産の取扱について
- 6) その他
 - ・幹事の異動
 - ・支部長会開催
 - ・支部会出席
 - ・予定
 - ・大阪薬科大学100年の歩み、記念式典のビデオテープを支部へ配布

Ⅱ. 審議事項

- 1) 同窓会記念誌 (母校100周年に寄せて 写真集) 配布について
- 2) 事務職員の雇用条件について
- 3) 同窓会室の開設等について
- 4) その他

幹 事 会

第1回

開催日 平成17年4月29日
場 所 アピオ大阪
出席者 69名+委任状 70名 計139名
監査役：高橋、平澤

議 題

Ⅰ. 報告事項

- 1) 母校関係
- 2) 平成16年度会務報告
- 3) 平成16年度決算報告
- 4) 監査報告
- 5) 幹事の異動
- 6) その他
 - ・九州支部への地震お見舞金
 - ・平成17年度暫定予算

Ⅱ. 審議事項

- 1) 役員を選出
 - ・武枝敏之副会長
 - ・常任幹事 14名
- 2) 平成17年度事業計画案
- 3) 平成17年度収支予算案
- 4) 特定遺贈の取扱について
- 5) その他
 - ・個人情報について
 - ・ペイオフ、保有財産について

第2回

開催日 平成17年10月16日
場 所 アピオ大阪
出席者 56名+委任状 94名 計150名
監査役：高橋、堀口

議 題

Ⅰ. 報告事項

- 1) 同窓会発行誌について
 - ・母校100周年に寄せて
 - ・同窓会報
- 2) 新年会開催について
- 3) 事務機器等の購入及び管理について

第3回

開催日 平成18年3月12日
場 所 アピオ大阪
出席者 58名+委任状 81名 計139名
監査役：高橋、堀口

議 題

Ⅰ. 報告事項

- 1) 暫定予算
- 2) 相談役の推薦
- 3) 委員会報告
- 4) 育友会との懇談会
- 5) 寄付金報告
- 6) 新年会報告
- 7) 事務機器等の購入
- 8) 母校関係
- 9) その他
 - ・幹事の異動
 - ・公開教育講座への協賛
 - ・市民講座への協賛
 - ・第40回大薬祭
 - ・幸田祐佳 (薬理学教室) 助手に研究助成金対象者決定
 - ・予定

Ⅱ. 審議事項

- 1) 会則・規程の検討について
 - ・役員会、幹事会の議事録作成、第13条(5)、第14条(10) 庶務が担当する
- 2) その他
 - ・同窓会室の開放に関し
 - ・同窓会記念誌 (写真集) の配布に関し
 - ・全国薬科大学、薬学部同窓会連絡協議会発足

役 員 会

第1回

開催日 平成17年4月29日
場 所 アピオ大阪

出席者 14名 監査役：高橋、平澤

議題

I. 報告事項

- 1) 母校関係
- 2) 平成16年度会務報告
- 3) 平成16年度決算報告
- 4) 幹事の異動

II. 協議事項

- 1) 特定遺贈の取扱について
- 2) その他
 - ・九州支部への地震お見舞金
 - ・平成17年度暫定予算

第2回

開催日 平成17年6月11日

場所 アピオ大阪

出席者 15名 監査役：高橋、堀口

議題

I. 報告事項

- 1) 役員の担当について
 - ・委嘱状授与
 - ・自己紹介

II. 協議事項

- 1) 事業計画について
 - ・会報編集のスケジュールと郵送方法
 - ・懇談会開催について
 - ・研究助成金授与者の会報への報告について
- 2) 個人情報の取扱について
- 3) その他
 - ・保有財産の取扱について
 - ・各種会合のスケジュール化
 - ・事務局の整備について
 - ・委員会立上げについて

第3回

開催日 平成17年8月7日

場所 大阪薬科大学小会議室

出席者 14名 監査役：高橋、堀口

議題

II. 協議事項

- 1) 母校創立100周年同窓会記念誌について
(母校100周年に寄せて 写真集)

第4回

開催日 平成17年10月16日

場所 アピオ大阪

出席者 15名 監査役：高橋、堀口

議題

I. 報告事項

- 1) 同窓会発行誌について
 - ・記念誌(母校100周年に寄せて)
 - ・同窓会報
- 2) 新年会開催について
- 3) 事務機器等の購入及び管理について
- 4) 個人情報の取扱について
- 5) 保有財産の取扱について
- 6) その他
 - ・幹事の異動
 - ・支部長会開催
 - ・支部会出席
 - ・予定

II. 協議事項

- 1) 同窓会記念誌(母校100周年に寄せて 写真集)配布について
- 2) 事務局職員の雇用条件について
- 3) 同窓会室の開設等について
- 4) その他

・支部長会、総会の開催日時

・大阪薬科大学100年の歩み、記念式典ビデオテープ配布

第5回

開催日 平成18年3月12日

場所 アピオ大阪

出席者 16名 監査役：高橋、堀口

議題

I. 報告事項

- 1) 委員会報告
 - ・広報、会計、庶務
- 2) 育友会との懇談会
- 3) 寄付金報告
- 4) 新年会報告
- 5) 事務機器等の購入
- 6) 母校関係
- 7) その他
 - ・幹事の異動
 - ・公開教育講座への協賛
 - ・市民講座への協賛
 - ・第40回大薬祭
 - ・幸田祐佳(薬理学教室)助手に研究助成金対象者決定
 - ・予定

II. 協議事項

- 1) 暫定予算(H18.4.1~H18.5.28)
- 2) 相談役の推薦について
- 3) 会則・規程の検討
 - ・役員会、幹事会の議事録作成は庶務が担当する
- 4) その他
 - ・同窓会室の開放に関し
 - ・同窓会記念誌(写真集)の配布に関し
 - ・全国薬科大学、薬学部同窓会連絡協議会発足

各種委員会その他主な業務

1. 平成16年度監査会
H17/4/9(於：大阪薬科大学同窓会室)
2. 正副会長
H17/4/10、H17/5/27、H17/6/20、H17/8/22、H17/9/13、H17/10/11、H17/10/21、H17/10/29、H17/12/21、H18/1/19、H18/3/14(11回)
3. 会計
H17/4/25、H17/4/27、H17/5/20、H17/5/22、H17/6/11、H17/9/21、H17/10/16、H18/1/13、H18/1/22、H18/3/12、H18/3/18(11回)
4. 広報(9回)
会報68号関係 H17/4/24
会報69号関係 H17/7/3、H17/8/7、H17/9/3、H17/9/11
会報70号関係 H17/11/19、H18/1/21、H18/2/18、H18/3/25
5. 庶務
H17/5/22、H18/1/22、H18/2/13、H18/3/18(4回)
6. 100周年記念事業委員会
H17/7/23(1回)
7. 100周年記念誌委員会
H17/4/9、H17/4/24、H17/5/7、H17/6/4、H17/7/23(5回)
8. 育友会との懇談会
H17/12/11
9. 支部関係
支部長会 H17/6/12

- 日本薬剤師会総会時広島県支部懇親会 H17/10/9
ホテルグランヴィア広島
福岡・佐賀支部会 H17/ 6/26
愛知県支部会 H17/ 8/28
広島県支部会 H17/ 8/28
兵庫県支部会 H17/ 9/ 4
奈良県支部会 H17/10/ 2
10. 市民講座協賛
H17/5/28、H17/10/22 (2回)
 11. 公開教育講座協賛
H17/5/21、H17/7/16、H17/11/26 (3回)
 12. 母校卒業式招待 (S23年卒、S24年卒、S25年卒、S51
年卒) H18/3/18
 13. 学友会大薬祭への援助金
H17/10/28~30
 14. 新入会員へ記念品贈呈
H18/3/18
 15. 成績優秀な卒業生へ大阪薬科大学同窓会賞贈呈
H18/3/18

16. 研究助成金を宮本勝城氏(S63)へ授与(平成16年度)
H17/5/22
17. 講演会
H17/5/22 小川 雅史(S48、大阪市立大学医学部附属
病院薬剤部副部長)
「患者さんの不利益回避のために」
18. 総会懇親会
H17/5/22 於：アピオ大阪
19. 新年会
H18/1/22 於：ホテルグランヴィア京都
20. 慶弔 慶 1件、弔 2件

平成17年度 監査会

平成18年4月8日 於：大阪薬科大学 同窓会室
平成17年度分決算、会務について監査を受ける。

大阪薬科大学同窓会会則の改正

平成18年5月28日の総会において、同窓会会則の改正が下記のとおり承認されました。

改正前	改正後
<p>第13条 役員会 (5) 役員会は、庶務担当の常任幹事が議事録を作成し、議長及び出席者の中より議長が指名した議事録署名人が署名捺印する。</p> <p>第14条 幹事会 (10) 幹事会は、庶務担当の常任幹事が議事録を作成し、議長及び出席者の中より議長が指名した議事録署名人が署名捺印する。</p> <p>第15条 総会 総会は毎年1回、会計年度終了後2ヶ月以内に会長が招集し、幹事会議決事項及び実施事業等の報告をし、承認を受ける。重要付議事項がある場合は審議する。 なお、会長が必要と認めた時は、臨時に総会を招集することができる。</p>	<p>第13条 役員会 (5) 役員会の議事録は庶務が担当し、議長及び出席者の中より議長が指名した議事録署名人が署名捺印する。</p> <p>第14条 幹事会 (10) 幹事会の議事録は庶務が担当し、議長及び出席者の中より議長が指名した議事録署名人が署名捺印する。</p> <p>第15条 総会 総会は毎年1回、会計年度終了後2ヶ月以内に会長が招集し、幹事会議決事項及び実施事業等の報告をする。重要付議事項がある場合は審議する。 なお、会長が必要と認めた時は、臨時に総会を招集することができる。</p>

同窓会本部役員リスト

(H.18.9.20現在)

役職	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年
会長	平澤 一男	(S33)						
副会長	筑紫 和子	(S26)	武枝 敏之	(S45)	田原 耕二	(S47)		
常任幹事	上原 サト	(S27)	増井 豊	(S30)	松谷 俊彦	(S32)	藤村 秀子	(S36)
	油野 奈那子	(S36)	福家 清美	(S38)	遠藤 郁子	(S40)	坂部 登志子	(S47)
	新田 春美	(S48)	畑 秀子	(S48)	藤井 政善	(S49)	藤波 美津子	(S50)
	森 麻子	(S50)	増田 豊	(S51)	谷 直子	(S54)	吉村 由香里	(S62)
監査役	高橋 市子	(S23)	堀 口 充	(S24)				
相談役	梶川 益美	(S29)						

支部役員リスト

(H.18.9.20現在)

支部名	支部長名	卒業年	支部幹事名	卒業年	支部幹事名	卒業年
関東支部	西岡 俊治郎	(S44)	西岡 俊治郎	(S44)		
愛知県支部	橋村 義樹	(S47)	田中 真也	(S52)		
滋賀県支部	増田 豊	(S51)	増田 豊	(S51)		
京都府支部	中嶋 一郎	(S41)	中嶋 一郎	(S41)		
兵庫県支部	権藤 善行	(S38)	重光 栄一	(S33)	田原 フミ子	(S46)
奈良県支部	堀 伸二郎	(S44)	堀 伸二郎	(S44)		
和歌山県支部	常風 潤一	(S45)	常風 潤一	(S45)		
鳥取県支部	武本 博之	(S27)	武本 博之	(S27)		
岡山県支部	橋本 清弘	(S32)	森本 宏	(S45)		
広島県支部	石井 健一郎	(S33)	石井 健一郎	(S33)		
香川県支部	辻上 巖	(S40)	辻上 巖	(S40)		
高知県支部	南 カズコ	(S10)	岡村 政志	(S56)		
福岡・佐賀支部	小松 秀美	(S35)	小松 秀美	(S35)		

クラス幹事リスト (191名)

(平成18年9月20日現在)

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
S 7	井本綾子	S26	阪本藤子	S40	遠藤郁子	S57	桜井秀也
S 7	美並アキノ	S26	福井正子	S40	山本律子	S57	鄭淳太子
S11	池田武子	S26	筑紫和子	S41	喜多克幸	S57	遠藤陽子
S12	森田登美	S27	秀高旭	S41	野崎萬平	S58	中嶋仁嗣
S12	阪口美佐子	S27	室清明	S41	根家幸子	S58	川井雅子
S13	藤井秀子	S27	上西恵子	S42	中山学	S59	井尻章悟
S14	田中金子	S27	上原サト	S42	中村沙和子	S59	佐藤輝弘
S14	中嶋操	S29	伊東英吉	S43	馬場きみ江	S59	水田純平
S15	田村和子	S29	梶川益美	S43	山口登茂子	S60	佐久間覚
S15	小川マツ	S29	塚本常明	S44	有田浩和	S62	友尾幸司
S15	山村良子	S29	小林茅子	S44	真下博孝	S62	小川栄子
S16/3	下村富美子	S30	増井豊	S44	石田寿昌	S62	吉村由香里
S16/3	磯崎敏子	S30	滝英男	S44	松本初枝	S62	谷口雅彦
S16/3	浦野和	S30	林寿美	S45	武枝敏之	H 2	宮崎誠
S16/3	竹村喜示子	S30	中野喜久子	S45	安田正秀	H 2	春木正美
S16/12	亀井佳子	S31	澤木茂	S45	有本恵子	H 3	高橋宏幸
S16/12	栃谷玉江	S31	田中美代子	S45	太田恵子	H 3	稻見達子
S16/12	村内富美	S31	野崎博子	S46	織田美夫	H 3	佐藤奈都子
S17	川村静枝	S32	樋口安夫	S46	山田佳代子	H 3	芝野真喜雄
S18	松永静子	S32	松谷俊彦	S46	西美紀子	H 4	箕浦克彦
S18	大西百合子	S32	遠田智子	S47	三野芳紀	H 4	安田成男
S18	田村栄子	S32	藤田ツネ子	S47	田原耕二	H 4	山田剛司
S19	本條華代	S33	加地章	S47	長谷雅史	H 7	原忠興
S19	真田郁子	S33	宮里孝子	S47	坂部登志子	H 7	姜悦代
S20	西村豊	S33	橋本照子	S48	西野隆雄	H 8	中村誓志
S20	石垣美代子	S33	太田英昭	S48	新田春美	H 8	大久保大助
S20	吉田玲子	S34	石丸正雄	S48	畑秀子	H 8	只野清史
S21	小久保幸子	S34	陶山久子	S49	藤井政善	H 9	粕渕一顕
S21	石野俊子	S34	赤尾尚子	S49	川田貢隆	H 9	加川信也
S21	今村禮子	S35	石本蔵	S49	藤波隆	H 9	原田勇一
S21	山城ツル子	S35	前田龍三	S49	小澤早苗	H10	中尾貴史
S22	阿鹿善子	S35	菊田礼子	S50	松本秀仁	H11	常峰智子
S22	和田敦子	S35	松江利子	S50	藤波美津子	H11	田中潤子
S22	天野智子	S36	清原祥恵	S50	森麻子	H11	河端裕
S22	山口和子	S36	藤村秀子	S51	尾島博司	H11	伊地智郁乃
S23	佐々木恭子	S36	油野奈那子	S51	松本まゆみ	H12	南俊史
S23	片上淑子	S37	白神太郎	S51	水川美也子	H12	山中泰幸
S23	西嶋久子	S37	大野治代	S51	三木節子	H12	山本雄一
S23	河合幸子	S37	中川百合悦	S52	杉本真理久	H13	宇野哲二
S24	面谷真喜子	S38	巽基子	S53	吉見彰久	H13	高山淳二
S24	下川淑子	S38	東口量子	S53	山中美咲子	H13	中野大介
S24	早川慶子	S38	福家清美	S53	倉田益枝	H13	中武祐子
S24	相原智子	S39	赤木昌夫	S53	井上貴代	H14	内橋伸介
S25	細野百々子	S39	木村捷二郎	S54	田中精一	H14	浦田元樹
S25	篠田督子	S39	喜多村義彦	S54	谷直子	H15	熊井仁美
S25	波部千代	S39	向井美代	S56	土井光暢	H15	湯北真由美
S25	安川美貴子	S40	工藤繁一	S56	上嶋孝博	H15	前田貞治
S26	島津多美	S40	中元安雄	S57	入江俊彦		



第41回 大薬祭

大薬祭実行委員長 山田 雅貴

日を増すごとに涼しさを感じる今日この頃。今年もいよいよ大薬祭の季節がやってまいりました。

今回で数えること第41回を迎えます。昨年度の入場数は3日間で計7106人で、毎年たくさんの方に来場いただき私も実行委員会も大変嬉しく思い、今年もあの盛り上がり体験できるのかと期待と希望に満ち溢れております。

今年の大薬祭の日程は10月27日(金)から29日(日)の3日間となっております。

さて、今年のテーマは『飛翔』に決定いたしました。このテーマは今年から薬学教育が6年制になり、新しい時代の幕開けとして一人ひとりが自覚を持ち、新たな気持ちで羽ばたいていける大薬祭にしようという意味が含まれています。この壮大なテーマに見合う大薬祭にしよう、来る日のために今日も総勢104名の実行委員は成功を信じ作業に明け暮れる日々を送っています。

大薬祭の構成は、門をくぐるとまず各クラブの模擬店が皆様を出迎えます。ここは3日間途切れることのない威勢の良い客引きが皆さんを待ち受けています。飲食、フリーマーケット、そしてゲームなどでおもてなしします。どの模擬店も売り切れ、そして売り上げの限界に挑み必死になって接客をしているので、心優しく買うもよし、現役大学生相手に値切り交渉をするもよしです。

毎年工夫を凝らし、発想を転換し、皆さんにより楽しんでいただこうと企画に力を注いでおります。

ではメインであるイベントの主なものをご紹介します。

10月27日(金)

- 『ファイトクラブ』；各クラブ員がクラブの名誉を守るために様々な面白い内容のゲームに挑み本気で頂点を目指します。
- 『ベストカップル♥コンテスト』；恋人同士の人でもそうでない人も参加できるものです。実際は異性、同性関わらず出場できるので面白トークが満載です。ここから一体何組のカップルが成立したかは数え切れません。
- 『Daiyaku☆Collection』；大薬のパリコレとでも申しましょうか。女性陣?が美貌とファッションセンスで見る者を楽しませてくれます。今年もここからいくつもの衣装が全国に向けて発信されることを期待しております。

10月28日(土)

- 『アカペラライブ』；コーラス部の方が日頃の練習の成果を披露し、プロ顔負けのアカペラで聴衆を魅惑のハーモニーで包んでくれます。ポイスパーカッションも超絶なものがあります。
- 『青春の主張～絶叫 ver～』；日頃の鬱憤が溜まっている方ならどちら様も参加可能です。老若男女を問わず

にかく叫んで叫んで叫んですっきりしてください。

- 『DANCE BATTLE in DAIYAKU』；学内外から集いしダンスの踊り子が華麗に舞いを披露します。
- 『サスケライブ in 大薬祭』；大薬に学生アンケートで第1位となったサスケが舞い込んで参りました。「青いベンチ」などの代表曲を学祭で楽しんでみませんか？

10月29日(日)

- 『園児の発表会』；地域の園児達がこの日のために一生懸命練習し、保護者の方も一生懸命ビデオを撮られています。学祭中で一番微笑ましい一時です。
- 『神経ピンゴ』；毎年たくさんの方が参加していただき凄い盛り上がりを見せます。ただしピンゴしたからといって油断は禁物です(詳しい内容は当日まで秘密です)。
- 『茶道部によるお茶会』；今年入部した1・2回生が日頃の稽古の成果を発表し、来ていただいた方々に秋の季節を感じながら、お茶を点てるお茶会です。部員一同この日に向けて頑張っています。
- 『薔薇祭』；言わずと知れた大薬祭きってのメインイベントです。Boy's onlyのダンスバトルで夏休み前から練習しているクラブもあり、力の入れ具合が違います。各クラブ色々な思考を凝らし、毎年歓喜・爆笑の渦に飲み込み力の限り踊り尽くします。

10月28日(土)・29日(日)

- 『フリーマーケット』；昨年は2日間合わせて約140ブースの出店があり、様々な商品が出店され毎年盛況となっております。
- 『トレジャーハント』；大学中を隈なく利用し、参加していただいた方を迷宮の入り口にご案内いたします。

10月27日(金)・28日(土)・29日(日)

- 『研究室展示発表会』；以前にはまったく無かった企画であり、同窓会の方には大変懐かしい研究内容や、新しい研究内容が展示されているかもしれません。

他にもまだまだイベントはございますので同級生、お友達、ご家族などは是非大薬祭に足をお運びくださいますようお願いいたします。大薬祭実行委員会一同心よりお待ちしております。

最後に毎年のご支援助と、同窓会報に大薬祭のページを割っていただきましたことに感謝いたします。

同窓会の皆様！ 第41回大薬祭(10月27・28・29日)にご参加下さい。ご覧のように興味深い企画がいっぱいです。秋の一日、母校で楽しい時間を過ごされては如何でしょうか。なお、大薬祭は同窓会が協賛しております。

第91回薬剤師国家試験の結果と本年度薬学総合演習の対策について

薬剤師国家試験対策委員長 藤田 芳一

第91回薬剤師国家試験が本年3月11日、12日の両日に実施され、その合格者発表が4月6日に厚生労働省で行われました。本学の今年度の成績は既卒者を含めた全体合格率が82.03%（全国13位）、新卒合格率は93.33%（全国2位）の成績でした（表1）。新卒につきましては、（表2）に見られますように、89回3位、90回1位、91回2位と推移しており、ここ最近の国家試験対策が極めて順調であったと考えられます。一方、今年度の既卒合格率は41.33%

（全国22位）と全国既卒平均合格率38.67%よりは幾分良いとはいうものの、この影響で全体合格率の低下を招いており、ここ何年来の課題である「既卒者の対策」が本学の急務であると考えられる結果となりました。科目別におきましては、「衛生薬学」が全国平均より大きく上回り、私学全体ではトップでしたが、「基礎薬学」は新卒者平均で1.2ポイントも下回り、私学全体で20位と、やはり以前からの課題を残したままになってしまいました（表3）。

（表1）

第91回薬剤師国家試験合格状況（本学）

	受験者数	合格者数	合格率	全体順位	私立順位
新卒	270	252	93.33	2	2
既卒	75	31	41.33	22	20
総数	345	283	82.03	13	13

（表2）

新卒合格率の変遷

区分		受験者 (人)	合格者 (人)	合格率 (%)	新卒 全国平均	
第91回 (H.18)	Y	男	45	44	97.78%	85.16% (86.26%) 2位
		女	135	129	95.56%	
	計	180	173	96.11%		
	S	男	38	31	81.58%	
		女	52	48	92.31%	
計	90	79	87.78%			
総数	270	252	93.33%			
第90回 (H.17)	Y	男	29	29	100.00%	93.29% (94.20%) 1位
		女	109	109	100.00%	
	計	138	138	100.00%		
	S	男	45	45	100.00%	
		女	52	52	100.00%	
計	97	97	100.00%			
総数	235	235	100.00%			
第89回 (H.16)	Y	男	41	41	100.00%	86.42% (86.97%) 3位
		女	122	118	96.72%	
	計	163	159	97.55%		
	S	男	30	28	93.33%	
		女	62	54	87.10%	
計	92	82	89.13%			
総数	255	241	94.51%			

【備考】新卒全国平均欄の2段目（ ）内は、私立大学のデータ、同3段目の順位は、本学の私立大学（29）における順位である。

（表3）

第91回薬剤師国家試験 学校別・科目別・換算点

		受験者	平均点	基礎薬学	衛生薬学	薬戦法規	医療薬学
全国 (A)	合計	11,046	69.15	64.18	71.69	63.63	71.70
	新卒	8,455	72.12	67.17	74.81	65.45	74.81
	その他	2,591	59.44	54.43	61.49	57.70	61.54
本学 (B)	合計	345	71.08	63.40	76.15	65.35	74.19
	新卒	270	74.03	65.98	80.05	67.43	77.15
	その他	75	60.47	54.11	62.10	57.93	63.53
差異 (B)-(A)	合計		1.94	-0.78	4.46	1.72	2.49
	新卒		1.91	-1.19	5.24	1.97	2.34
	その他		1.04	-0.32	0.61	0.23	1.99

厚生労働省発表の素点による平均点を換算点（得点率）に変更した。

したがって、本年度の薬学総合演習の対策としましては、ここ最近の基本方針を引き続き継承しながら、(1)「基礎薬学の学力向上」を今まで以上に強化すること、(2)「成績不良者の学力向上」に力を注ぐこと、(3)「既卒者の成績向上」に留意すること、を目標にし、“継続は力なり”を合言葉に、国家試験対策を考えたいと思っております。私たち国家試験対策委員会は勿論最善を尽くしたいと考えておりますが、教職員の皆様のご理解、ご協力、ご叱責を是非ともお願い申し上げる次第です。また、国家試験対策についての妙案があればいつでもご提案くだされば幸いです。

臨床薬剤学教室

教授 田中 一彦

臨床薬剤学教室は1998年10月に新設講座として開設され、8年目を迎えております。新設であったため、当初は実験器具は勿論、プラッテも無い状態で研究室は配管の出口のみでした。何も無い状態で、よくぞ第1期生の特研生が来てくれたモノと感謝しております。開設翌年の4月、西堀助手が赴任し、プラッテもようやく入ってきて、少しずつ研究室らしくなってきました。当初は（今もですが）他教室の先生方のご指導を仰ぎ、手探りの状態でしたが、ようやく教室の基礎が固まり（かなり遅いですが）、現在では「医薬品の適正使用のための研究」をメインテーマとして、主として4つの研究グループに分かれるようになりました。田中も実験の経験はあまりなく、西堀助手は卒業したところであり、各年度の特研生・院生と共に教室の基礎を作ってきました。臨床的研究については、当初から同窓会の先生方がおられる病院薬剤部また保険薬局にて学生がお世話になり、未だにお世話になりっぱなしです。曲がりなりにも基礎的また臨床的研究が出来ているのも同窓会の先生方のおかげと、深く感謝いたしております。

基礎的研究の内容ですが、カプサイシングループにおいてはカプサイシンとCGRPとの関係をCGRP-P-KOマウスを使って追求しており、カプサイシンと肝血流また薬物代謝については肝灌流モデルを用いて行っております。LPSグループにおいては敗血症時の薬物代謝に対する影響について調べると共に、その原因また予防についても検討しております。心臓グループにおいては、心臓灌流装置を用いて心筋虚血再灌流不整脈と抗不整脈薬との関係を中心に研究を進めており、より効果的な不整脈薬の使い方と共にその因果関係についても調べております。これら実験グループにおいても学术交流協定大学である大阪医科大学の臨床また基礎の教室の先生方にもお世話になり、教室では出来ない基礎的また臨床的

研究をやらせてもらっています。臨床的研究は主として大阪薬科大学の出身者がおられる病院薬剤部また保険薬局にて、多くの特研生また修士生がお世話になっており、文字通りの臨床的研究をさせていただいております。いずれにしましても、研究面においても多くの同窓会の先生方にお世話になっております。

教室行事は12月第1日曜日の教室研究発表会と8月第1土曜日の納涼会兼同窓会を中心に組まれております。教室研究発表会は某社の講堂をお借りして1年間の成果の発表会を行っております。お世話になっている外部の先生方（同窓会の先生方が中心です）またOB・OGにも来ていただき、指導的なご質問やご助言を戴き、有意義な発表会となっております。終われば少々早いですが、忘年会を行っております。発表会の内容を中心に卒業論文を仕上げ、論文集を卒業式の日教室からの卒業記念品として渡すことが恒例となっております。その他、特研旅行、各種「おつかれ会」など多くの行事があり、楽しくやっております。

スタッフの異動は、開設時は田中と西堀助手（1999年大薬卒）でしたが、2002年4月に、廣谷講師（1977年大薬卒）が来られました。西堀助手は2005年3月に退職された後、結婚され川井君となられ、2005年4月より加藤教務職員が赴任されました。廣谷講師は2006年4月大阪大谷大学薬学部助教授として栄転され、井尻助教授（1981年大薬卒）が来られました。従って、現在のスタッフは、田中と井尻助教授、加藤教務職員の3人となっております。

教室が、卒業生と在校生の橋渡し役になれば、また、研究面では臨床的研究と基礎的研究との橋渡し役になれば、と、思っております。教室開設以来現在まで、多くの同窓会の先生方にお世話になっており、これからもお世話にならなくてはなりません、今後とも何とぞ宜しくお願い申し上げます。



第4回大阪薬科大学同窓会研究助成を拝受して



大阪薬科大学・薬理学教室
助手 幸田 祐佳 (H2)

このたびは、大阪薬科大学同窓会研究助成金のご援助をいただき、心よりお礼申し上げます。私は、平成8年3月に大阪薬科大学を卒業後、大学院博士前期（修士）課程に進学し、平成10年3月に修了しました。同年4月より薬理学教室の助手として勤務し、教育および研究に従事しております。その間、玄番宗一教授のご指導を賜り、平成17年7月に大阪薬科大学から「薬物性急性腎不全におけるフリーラジカル産生と細胞内シグナル伝達分子の役割に関する研究」の課題名で博士（薬学）の学位を授与されました。

私が「腎臓」に興味をもつことになるきっかけのひとつに、阪神大震災（平成7年1月）で大きな問題となった「クラッシュ症候群」が挙げられます。クラッシュ症候群とは、手足や腹部などの筋肉が長時間圧迫されることによって、多量のカリウムやミオグロビンが全身に広がり、心臓や腎臓の機能を急激に悪化させます。3年次生における薬理学の講義の時、玄番教授は「被災地では、クラッシュ症候群のために急性腎不全を引き起こし、血液透析を必要とする患者が増えるでしょう。血液透析をしなければ、患者の命にかかわります。」と話されました。私は、その瞬間に「急性腎不全についてもっと知り

たい」と強く心に思い、腎臓薬理に関する研究をされていた玄番教授の薬理学教室（当時は第2薬理学教室）の門をたたくこととなりました。それから、ラット達との共同生活がスタートしました。常に、以下のことを肝に銘じながら、実験を行うようになっています。実験動物への感謝の念を忘れないこと、自分に厳しくあることです。ここだけの話ですが、たまには甘くなってしまったこともあるかもしれません。今後は、同窓会研究助成を拝受したからには、自分にさらに厳しくあることで、研究成果をあげられるように日々努力したいと思います。

助成金をいただいた研究内容は、「急性腎不全の発症におけるシグナル伝達分子および疾患関連タンパク質の解析」です。腎臓は、治療薬などの化学物質により、障害（副作用）を受けることがあります。腎移植時に、血液を再開させることによって腎臓で障害が生じます。高齢者の増加に伴い慢性腎疾患が増加しています。このような薬物等による急性腎不全や慢性腎不全の成り立ちを調べ、その防御の可能性について検討しています。活性酸素に代表されるフリーラジカルは、急性腎不全および慢性腎不全の発症や進展において重要な役割を担っていることがわかり、腎疾患における活性酸素と細胞内シグナル伝達分子および疾患関連因子の関与の解明へ向けに取り組んでいます。

研究に携わる者は、新たな発見や知見を世の中に発表することが、重要な責務だと感じています。大阪薬科大学および同窓会の発展に貢献できるように努力してゆく所存でございます。今後とも、ご指導とご教授を賜りますようお願い申し上げます。

（写真は2006年5月28日、平澤会長から同窓会研究助成を授与される幸田祐佳先生）



教授就任の挨拶

臨床化学研究室 教授 藤田 芳一(S46)

このたび臨床化学研究室教授に昇任させて頂きました藤田です。私は、昭和46年に本学を卒業（18期生）して以来、善いも悪いも本学一筋35年余になります。本研究室の前身は第2分析化学教室ですが、今は病態生理学を中心に講義を担当しています。本年度は、山口敬子助手を筆頭に、院生12名（D2名、M10名）、学部生17名、研究生2名の大所帯で、「挨拶を忘れず、元気よく、ケジメをつけて」をモットーに、「生体関連物質の実用的分析法の開発」をメインテーマにして、日々賑やかに実験しています。私の在任期間もそんなに長くないのですが、“人づくり”を目標に掲げ、もう一踏ん張りしようと思っております。皆様におかれましても、後輩そして大薬のため、益々のご支援、ご協力の程、宜しく願い申し上げます。また、御来校の際には是非とも当研究室にお立ち寄りくだされば幸いです。お待ちしております。



総合科学系言語文化学グループ 教授 濱中久美子



私が本学に専任講師として採用されてからもう30年になろうとしております。生来、丈夫でない私がこれほど長く勤めることができたのは、本学の教職員の方々のご助力のお蔭であることを、心から感謝しております。思いがけず今年の4月から教授に昇任させていただきました。今後、私らしく自然体で本学に貢献したいと思っております。どうかよろしく願いいたします。

環境医療学グループ 教授 松島 哲久



平成18年総会懇親会にお招きいただき、楽しいひとときをすごさせていただき、有難うございました。同窓会の皆様の母校を想う熱い情熱に胸が熱くなる想いを抱いて帰途についた次第です。小生は平成3年哲学担当として堀田輝明先生の後をお受けする形で助教として本学に奉職いたし、以来、医療倫理等の講義を担当してまいりました。本年4月、六年制への移行もあり、教授に推挙されました。今後いっそう薬学教育の充実化を図ることが強く要請されていますことを深く自覚し、全身全霊をもってその重責を果たし、大阪薬科大学の発展に少しでも寄与できればと願っております。今後ともよろしく願い申し上げます。

総合薬学系・生理機能化学研究室 教授 藤本 陽子(S53)



本年4月1日付けで大阪薬科大学教授（総合薬学系・生理機能化学研究室）に就任いたしました。昭和53年に本学を卒業し、本学大学院薬学研究科修士課程を修了した後、衛生化学教室の助手に着任いたしました。それ以来、今日まで、本学の衛生薬学とくに環境衛生の教育に従事してまいりました。環境衛生の分野は、社会的な諸要素の影響を強く受けることが特質であり、常に新しい課題への展開に対処できるような基礎学力の養成と応用能力の育成にこれからも心がけていきたいと思っております。研究面では、活性酸素やプロスタグランジンに関する研究を行ってまいりました。現在では、衛生薬学的見地から、環境ホルモンの作用機構の解明や生活習慣病の予防対策に繋がる研究も行ってまいります。母校である本学の将来のさらなる発展に微力ながらも貢献できればと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしく願い申し上げます。

分子構造化学研究室 教授 土井 光暢(S56)



この度、教授に昇任することになりました。何卒よろしくお願ひ申し上げます。私は本学を昭和56年に卒業し、故・井上正敏教授のもとで昭和58年に第1物理化学教室の助手として採用されました。それ以来母校で教育、研究に従事してまいりました。専門領域はペプチドなどの生体分子のX線結晶構造解析で、結晶がX線を回折する現象を利用してナノスケールで分子の形を観測しています。

H18年は薬学部の乱立と6年制開始によって、本学を取り巻く環境が激変した年になりました。今後も薬学部新設の傾向は続き、さらに来年は全国の大学定員と進学希望者数の逆転がおこる全入時代の年でもあります。本学も大学淘汰の波にのまれることは必至ではありますが、百年を超える伝統を支えに今後も大学の発展が継続されるように努力して行きたい所存ですので、ご指導ご鞭撻の程をお願い致します。

総合薬学系医薬品化学研究室 教授 田中 麗子(S49)



同窓会の皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

この度、私は平成18年4月1日付けで、大阪薬科大学総合薬学系医薬品化学研究室教授に就任させて頂きましたので、一言ご挨拶申し上げます。

私は1974年に本学を卒業後、直ちに質量分析室のオペレーターに採用されました。2年後、薬品化学教室の助手に配置変えになり、その後、教室の名称は幾つか変わったものの一貫して医薬品化学の講義を担当し、植物の含有するテルペノイド類の絶対立体構造とその生理活性に関する研究を続けております。活性については主に癌の遅延、癌の抑制に重きをおいた研究を行っております。

早いもので母校に奉職させて頂いてから32年もの歳月が経過しました。本学の教員であることに誇りを感じると同時に、教授としての責任の重さに身の

引き締まる思いをしております。微力ながらも伝統ある本学の発展に何とか貢献したいと考えております。

総合薬学系・病態分子薬理学研究室 教授 高岡 昌徳(S52)



本年4月1日付で大阪薬科大学教授に就任いたしましたので、この場をお借りしてご挨拶させていただきます。

昭和53年に本学を卒業した後、昭和55年4月に第一薬理学教室

の助手として採用され、すでに四半世紀が過ぎました。現在は病態分子薬理学研究室に所属しています。その間、研究面では、循環器系に関する生理学や薬理学の研究を行ってきました。また、教育面では、一年次生後期と二年次生前期に開講される機能形態学(生理学+解剖学)の講義を担当しています。この講義を通して、大学で学ぶことの面白さを学生に伝えたいと思っています。

本年度より薬学教育6年制がスタートしましたが、いまだに薬科大学の新設計画などがあり、本学を取り巻く環境も厳しいものがあります。本学がさらに発展するためには、多くの分野で活躍されている同窓生のお力が必要であります。今後とも、同窓会の皆様方のご支援をお願い申し上げます。

総合薬学系・機能分子創製化学研究室 教授 浦田 秀仁(S58)



本年4月1日付けで、機能分子創製化学研究室教授に就任いたしました。今年は薬学6年制元年でもあり、受験人口の減少や新設薬学部の乱立など大きな変革の時期に教授の職を拝命し、

その重責に身が引き締まる思いです。

昭和62年に助手として奉職して以来、研究面では一貫して核酸化学の研究を進めてきました。この間、平成11年に日本薬学会奨励賞を受賞することができたのも、苦楽をともに研究に没頭してきた当研究室出身卒業生諸氏の協力の賜物と、厚く感謝申し上げます。現在、講義は有機化学を担当しています。有機化学は苦手意識を持つ学生が多く、そうした学生に興味を持ってもらうのは容易なことではな

いですが、「薬の名前」ではなく「薬の構造」で物性や生理作用を考えることができる薬剤師を一人でも多く輩出できるよう努力していきたいと考えています。

どうか今後とも、同窓会の皆様の本学へのご支援をお願い申し上げます。

臨床実践薬学研究室 教授 荒川 行生



本年4月1日付で、大阪大学医学部附属病院薬剤部より、本学に新設されました臨床実践薬学研究室に着任いたしました。どうぞ宜しく願い申し上げます。

前職では病院薬剤師として調剤、製剤、医薬品情報、TDMなどの薬剤実務や病院感染制御、および研修生への実務教育に従事するとともに、主に生体内薬物や生理活性ペプチドの免疫化学的測定法の確立とその応用研究、およびその関連テーマで大学院生への指導を行いました。

本学ではこれらの経験を生かし、臨床現場に広くup-to-dateに研究課題を求め、現場で問題を発見し解決できる能力と医療人としての真の倫理観を備えた薬剤師の養成を目指したいと存じます。

また、薬学6年制の特徴である病院・薬局での長期実務実習を、円滑に行うための準備（事前学習、共用試験、実習施設の割り当て・調整など）も粛々と進めてゆきたく存じますので、同窓会の皆様にも、ご指導とご鞭撻をどうぞ宜しく願い申し上げます。

支部だより

兵庫県支部だより

S46 田原フミ子

9月10日(日)ホテル竹園芦屋で開催されました。

(財)日本薬剤師研修センター認定の研修会は、神戸在宅ケア研究所・神戸リハビリテーション病院院長の庄村東洋先生による「心の時代における医療」の講演があり、学生時代に習った科学中心ではない薬剤師や医師等による心の通ったチーム医療が、いかに重要であるかを学習することができました。

引き続いての総会では、会計報告の後、役員改選が行われ、権藤善行支部長(S38)を再選、監事に清原祥恵(S36)さんと高崎庸子(S40)さんを選出。

休憩後、懇親会が開かれ、平澤一男(S33)本部長の挨拶の後、来賓として、昨年12月母校学長に就任された栗原拓史先生(S37)よりご挨拶を賜りました。本部より筑紫副会長、武枝副会長、また、

兵庫県以外からの出席者が紹介されました。岡野元支部長(S33)の乾杯のご発声で宴が始まり、楽しい語らいの場となりました。

アトラクションとして、同窓会本部より支部に頂いた大阪薬科大学100年のビデオを上映しました。今回ご出席74名のうち、昭和14年ご卒業の7名は今年90歳の卒寿を迎えられるとのこと、拍手でお祝いしました。皆様方は、お元気に帝國薬学専門学校校歌を歌われました。すると、高見の里学舎時代の大阪薬科大学旧学歌を歌おうとの声上がり、コーラス部OBのリードで高らかに歌いました。

その後、新役員の発表がありこれから2年間兵庫県支部のために頑張っていきたいとの思いを新たにしました。旧交を温められた方、初めてご出席頂いた方など、さまざまな出会いがあり、非常に盛り上がっていましたが、中締め時間となり、山下正明新支部長(S49)の閉会の挨拶で、今回は、平成19年6月又は7月のシーサイドホテル舞子ピラ神戸での開催予定が発表され、再会を約束してのお開きとなりました。

来年もお元気なお姿でお会いできることを楽しみにしています。

クラス会だより

昭和12年会

S12 阪口美佐子

春めいて参りました。

昭和12年卒業のクラス幹事をして居ります阪口美佐子で御座います。いつも欠席ばかり致しまして申し訳ありません。岩井さんが生前の時は名前だけで良いよといわれて、その気になって、いつも欠席ですませて居りましたが、突然の御死去で同窓会との連絡の仕方解らぬままに一年が過ぎてしまいました。もう一人の森田登美様も足を骨折されたり、



私も骨粗しょう症で一人では外出も出来ない状態になっております。

クラス便りも書く気になって居りながら、とうとう見送ってしまいました。ほとんどの同級生が九十歳以上になっております。この様なことでクラス幹事のお役も無理かと存じますので、森田様共々今年度から辞めさせて頂きます。同窓会員も年々減ってゆくと思います。返還して頂

いていた（クラス会のために）費用も同窓会のためにお使い下さい。同封の写真は校長先生のお宅へ元陸軍姫路師団の師団長だった賀陽の宮様がお泊まりになった時のお写真です。

昭和十二年卒の私達がお相手をさせて頂いた時のです。

校長先生のお宅はすばらしかったです。

（18年4月 記）



翠晶会

S24 幹事一同

昇格か、廃校か三年間揺れ続けた母校を卒業。風雪を重ねて57年。平成18年3月18日阿武山を背に素晴ら

しい自然環境の中に立つ母校の卒業式に同窓会本部よりお招き頂きました。近畿は勿論、東京、水戸、熊本、佐賀、鳥取、愛媛の各地より25名が出席。お互いの無事を慶び合いました。相憎くのお天気でしたが、きらびやかな和装の新卒の若人にエネル

ギーを頂いた楽しい一日でした。学長はじめ、役員の皆様の心暖まるお持て成しをうけ、昼食を頂いた後、学内見学。白亜のアーチ型廊下を再現したかに見える資料室。思わず高見の里学舎の思い出が蘇り、よくここまで百年の歴史を集めてくださったと感謝感激でした。

二次会は梅田ヒルトン 35F レストランバーに集まりました。私共翠晶会は200名卒業。物故者49名、不明者12名、現在139名です。毎年5月末に例会を開催しています。お一人でも多くの方が集まれる様、次回も考慮致し度く思っています。

昭和30年会

S30 林、中野、三浦、滝、増井

同期会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

本年4月5日、昨年と同様KKR HOTEL OSAKAで開催しました。

当日は出席者19名でちょっと淋しかったのですが、返信のお便りでは70才を過ぎても未だ仕事に頑張っておられる方、ボランティア活動をされている方、又趣味に夢中になってお

られる方、片や一部体の不調を訴える方などいろいろありました。

その日は花曇りでしたがお天気に恵まれ、大阪城の桜を鑑賞しながら和やかなひとときを過ごしました。

食事の後は世界バラ会議開催の為、大阪城公園が整備され以前より美し



くなった西の丸庭園など散策し散会しました。

なお、来年は5月の連休明けの5月13日(日)、14日(月)に南紀白浜温泉・古賀の井ペイホテルにて、和歌山出身の向井博子氏、脇村純代氏、小坂和生氏のお世話で開催する予定です。できるだけ多くの方の参加をお待ちしております。

昭和51年会

S51 小川きよみ

23期生30周年記念

同窓会開催される

平成18年4月29日 守口ロイヤルパインズホテルにおいて23期生の30周年記念同窓会が開催されました。

10年、20年、25年と同窓会も回を重ねてまいりましたが、今回は93名が集い盛大に開催することができました。30年経っても会えばみんな昔のままです。でも亡くなった人も少しおられました。

食事をしながら同時にタイムスリップし、また創立100周年記念のDVDも見ていただきました。場所も時代も変わっても学生は今も昔も同じように見えるのは私達だけでしょうか？ 自己紹介、近況報告、記念撮影と時間はあっという間に過ぎてしまいました。夜遅くとも話が尽きず名残惜しくて地元の人も帰ることができません。

4月最後の連休で準備していたホテルの部屋をはじめ大阪市内のホテルにも東京、四国、九州などに離れ離れになっている同窓生が宿泊し、まるで30年の年月がなかったような



浦島太郎のような同窓会でした。

メールアドレスや名刺の交換もしていますのでこれを機会にまた交友を深められるといいと思っています。

また元気で次回同窓会にも集まれることを楽しみにしています。

クラス会の原稿をお寄せ下さい
ホットな文と、楽しい写真も添えて…



薬剤師と鍼灸師

S45 谷口和久

私は、昭和45年に大学を卒業し、その後製薬会社に勤務していましたが、大学在学中にダブルスクールとして学び卒業しました吹田市に所在する「明治東洋医学院専門学校」に大学設立構想が持ち上がったのを機に、昭和47年にそれまで勤務していた製薬会社を辞して、当専門学校の教員と事務を兼任した形で新たな人生をスタートさせることになりました。

思い返せば、決してゆとりのある学生生活ではありませんでした。当時のハンドボール同好会を部に昇格させるための駅伝競争で仲間とともに必死の思いで走ったことや、友人の下宿で生薬学の教科書を蓋にして作ったラーメンを食べながら夜遅くまで語り合ったことなど、今では楽しい思い出ばかりが甦ってまいります。

さて、私の新たな出発となりました当専門学校の大学設立構想は、我が国においては全く初めての試みでもあったため、多くの課題と困難があり、乗り越えるべきハードルは高く、4年制大学の設立は一旦断念せざるをえず、まずは3年制短期大学として開設する運びとなり、昭和53年4月に京都府船井郡日吉町（現：南丹市日吉町）の地に「明治鍼灸短期大学」を開設いたしました。そして、大学設立の機が熟した昭和58年4月に念願の4年制大学である「明治鍼灸大学」を開設しました。ところが、大学設置認可基準の一つに「附属病院の設置」が必須要件とされましたので、我が国では医歯学部以外で初めてとなる大学附属病院（11診療科・114床）を京都府立医科大学のご協力のもとに開院しました。

私は、附属病院開院後に学院理事長となり、大学と専門学校の運営に従事しながら今日を迎えたこと

ですが、その間の平成6年に「大学院博士後期課程」の設置、平成16年には「保健医療学部 柔道整復学科」の開設を行いました。また本年から「看護学部」を新たに設置し、従来の看護教育を基盤としながらも本学の特色である東洋医学の知識や理論を取り入れた新しい発想のもとで、多様化するニーズに応えられる新しい看護実践能力を備えた看護師・保健師の養成をめざしスタートさせています。

今、大学を取り巻く環境は規制緩和のもと日本の薬学教育も大きく変貌し、今後は多くの薬剤師が社会に輩出される時代の中で、如何に生き残るかが問われてくることと思われまます。

また、私どもの専門学校には毎年数名の薬剤師の方々が鍼灸科に入学されており、患者さんに触れ治療ができる鍼灸師免許を取得し、卒業後は薬局に鍼灸院を併設されて漢方薬等販売と鍼灸治療を行っておられます。

現下の高齢化社会の進展を受けて、健康への関心が益々高まっている今日、医療関係の方々がそれぞれの独自性と強みを活かしながら、他分野を加える「コラボの時代」が到来する中において、薬学ならびに東洋医学（鍼灸・柔整）を含む統合医療など、新たな魅力の創造にそれぞれが発想され、母校の大阪薬科大学のご発展と同窓生の皆様方が益々ご活躍いただきますことを祈念いたしております。

（明治鍼灸大学 <http://www.meiji-u.ac.jp>）

（明治東洋医学院専門学校

<http://www.meiji-s.ac.jp>）

懐かしの高見の里学舎

S48 畑 秀子

勤務先が変わって、偶然通った道が薬大（現・阪南高校）の横に出たのです。かなり変わっていますが、この辺で下宿していたと思うと懐しく、それ以来ずーと薬大前の道を通っています。

あの頃行っていた喫茶「ゲルベ」はなくなったと思っていたのですが、“ゲルベ”の文字をみつけたのです。当時の原色の黄色からベージュ色になっていたの素通りしていたようです。思い切って店に入ってみました。マスターと奥さんは今も健在で、70才を超えたとか、話をいろいろ聞きました。マスターにとってもあの頃が青春だったんだ。それにしても学校の内部事情に詳しいのには驚かされました。

休日、主人と思い出がしの散歩に出かけてみました。当時、何ともいえない悪臭がしたのを思い出しながら西除川沿いを歩く。高見温泉（銭湯）、麻雀ホース横の喫茶店、喫茶店「ゆもん」はなくなっていました。校門前の橋本食堂は寿司仕出しで頑張っており、茂野文具店も存在しています。

学校の敷地は同じ様で、阪南高校として建て替えられ、若い高校生が通っています。懐かしいテニスコートや女子寮は住宅地となり、酔っぱらって男子が飛びこんでいた池は幼稚園に、後に移転したテニスコートと薬草園は公園に変わっていました。

学校の南側には当時の様子を残している古い家も残っていて卒業35年余り経つ今、学校の門の前からの道はあの頃の雰囲気を感じられ、懐かしい一日でした。



喫茶ゲルベは今も健在。



正門前の道路。橋本食堂、茂野文具店も頑張っています。



今は阪南生の通学路になっています。

第23回大阪薬大OBゴルフ大会

今夏の8月24日、兵庫県の山の原ゴルフクラブにおいて、大阪薬大OBゴルフ大会が行われた。成績は以下のとおりである。

優勝：山岡 博夫（S56年卒）
 準優勝：青木 延博（育友会）
 3位：谷本多三夫（S56年卒）
 ベストグロス（92）：高橋 宏幸（S56年卒）
 参加者：22名

当日は、久しぶりの快晴、なぜか、S56年卒のOBが揃って頑張り、また、育友会から初参加の青木パパが準優勝。

この大会は大学近辺に勤務又は在住のOB・OG・保護者間で始められた年2回のゴルフコンペで、今回は第23回である。

本学卒業生の女子プロゴルファー「西山泰代さん」は参加の予定であったが、ご家族の事情で欠席。報告者も腰痛で今大会も参加できず。

来年の24回には、さらに多くの育友会員や教職員、現役学生の参加も期待したい。

（報告者：木村捷二郎）

母校周辺散策コースのご案内 (1)

大阪薬科大学の所在地・高槻市には歴史の重みを感じさせる名所・旧跡が数多くあります。

大学訪問と合わせて、周辺散策も楽しんでお帰り下さい。

～酒造りと古寺の町～



寺内町として栄え、江戸時代以降は、酒造りを中心として発展した「富田」。

面格子や本瓦葺の町屋が続く町並みが残り、伝統を受け継ぐ“地酒造り”の酒蔵もあります。また静寂と安らぎが広がる普門寺の庭園や、気品が漂う慶瑞寺の菩薩座像など…、心休まる散策コースです。



アクセス→JR・阪急富田駅から南へ、全行程約3km。主な名所・旧跡→酒造り（清鶴酒造）、教行寺、本照寺、三輪神社、普門寺、慶瑞寺、酒造り（寿酒造）

～文化財の宝庫～

「文化財の宝庫」といわれるほど多数の遺跡がある高槻。藤原鎌足の墓と伝わる阿武山古墳、淀川右岸では最大の今城塚古墳、式内社の阿久刀神社等々ー北部には遺跡を中心に、地域の社寺があります。



阿武山古墳は阿武山の標高約210mの尾根上にあります。また南平台には埋蔵文化財調査センターがあり、さまざまな出土品が展示されています。

アクセス→大阪薬科大学周辺行程約5km。主な名所・旧跡→阿武山古墳、浄正寺、殿岡神社、埋蔵文化財調査センター、今城塚古墳、阿久刀神社



母校のすぐそばにある写真上・埋蔵文化財調査センター、写真左・阿武山古墳

～四季の彩りと渓谷美～

3,000本の桜並木が続く摂津峡。

春秋には新緑・紅葉で彩られ、夏にはホタルが舞い、鮎がはねます。



安岡寺にある千手観音坐像

また高槻の寒天づくりの祖・宮田半平太ゆかりの聞力寺、重要文化財の千手観音坐像がある安岡寺、塚脇古墳群や城山などの遺跡もあります。



写真右は摂津峡、写真下は芥川城跡付近といわれる城山

アクセス→大阪薬科大学から東へ行程約4km。主な名所・旧跡→摂津峡・白滝、摂津峡公園桜広場、服部連塚、聞力寺、神服神社、安岡寺、浦堂

（この記事は高槻市のご好意により、同市ホームページ歴史散策を参考に作成しました。）

平成18年度大阪薬科大学公開教育講座

公開教育講座委員長 掛見 正郎

大阪薬科大学の公開教育講座は「卒後教育講習会」として1983年に発足以来、本年度で23年目にあたります。これは全国薬科大学の公開教育講座としては最も長い歴史を持つものの一つであり、参加者も極めて多数にのぼっています。1992年からは「薬剤師の生涯教育」に焦点を絞るとともに、全国に先駆けて(財)日本薬剤師研修センターとの共催を決定し、現在に至っています。

さて、昨年度から本公開教育講座は、「くすりの作用と副作用～薬物治療における安全管理のために～」をテーマに、医薬品の適正使用をめぐる様々な問題点を取り上げ、その解決策について討論してまいりました。本年度も引き続き同じテーマで、以下の通りの日程で開催したいと考えております。

すなわち、「生活習慣病」に焦点を絞り、「糖尿病」「循環器疾患」「高脂血症」について、それらの発症要因から治療薬の作用と副作用までを、基礎と臨床の両面から討論してまいりたいと考えております。ご承知の通り、医療法の改正以来薬剤師には、医薬品の作用機序はもとより、副作用の成り立ちや症状の認識、これらの早期発見とその回避、軽減対策を提案すること



(左)大阪市立総合医療センター 細井雅之先生、(右)大阪医科大学第三内科 河野龍而先生

平成18年度大阪薬科大学公開教育講座のご案内

◎第42回 5月20日(土) (開催済)

①『糖尿病と高血圧症の接点～グルコース・ストレスと高血圧～』

大阪薬科大学薬物治療学研究室

教授 田中 孝生 先生

②『糖尿病の治療薬と副作用～患者の常識・非常識～』

大阪市立総合医療センター栄養部部长 /

代謝内分泌内科副部長 細井 雅之 先生

◎第43回 7月15日(土) (開催済)

①『冠動脈疾患の治療』

大阪医科大学第三内科 講師 河野 龍而 先生

②『重大な副作用回避のために～循環器領域における服薬説明の問題点を中心として～』

大阪薬科大学臨床薬剤学教室

助教授 井尻 好雄 先生

◎第44回 11月25日(土) (予定)

①『高脂血症治療薬の体内動態と薬物相互作用』

東京大学大学院情報学環・学際情報学府 /

東京大学大学院薬学系研究科医薬品情報学講座

教授 澤田 康文 先生

②『高脂血症・動脈硬化の治療薬と副作用』

大阪市立大学大学院医学研究科

代謝内分泌病態内科学講師 庄司 哲雄 先生

開催場所：梅田スカイビルタワーウエスト36階

会議室L・R

アクセス：JR大阪駅中央・北口から、前方に梅田

スカイビル(会場)、右手にヨドバシカメラを見て、

北へ徒歩10分(途中に地下歩道があります)。

受講料：当日受付。1回2,000円(本学卒業生1,000円) [受講資料集代を含む]

受講の特典：本学の受講修了証。薬剤師の方には、

(財)日本薬剤師研修センターの「受講シール」、

(社)大阪府薬剤師会の「薬剤師生涯教育受講証」

などを当日にお渡しします。

お問い合わせ：

〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4-20-1

大阪薬科大学公開教育講座委員会

TEL (072) 690-1019 (入試・広報課)

FAX (072) 690-1018

URL <http://www.oups.ac.jp/>

が求められております。このことは、これからの薬剤師には「薬物治療における安全管理者」としての新たな位置付けが必要であることを意味しています。

本公開教育講座をこれら「薬剤師の生涯学習」に積極的に役立てていただければ幸いです。

平成18年度大阪薬科大学市民講座

市民講座委員長 馬場 きみ江

大阪薬科大学主催の市民講座は、「社会に開かれた大学」を目指し、生涯教育の一環として、主に市民の方を対象に参加費無料で年間2回開催しております(第21回大阪薬科大学市民講座は開催済)。統一テーマは「健康とくすり」としてありますが、各回の講演内容は、これまでの参加者の皆様のアンケート結果を参考に決定し、皆様の意向に沿った企画内容となるよう努めております。本講座は、講演の他に、「くすりの相談室」「薬用植物園の見学



「くすりの相談室」「薬用植物園の見学

(学内開催時のみ)」も併せて開催し、特に「くすりの相談室」では第一線でご活躍中の薬剤師に、くすりに関するあらゆる相談に応じていただき、毎回好評を得ております。



さて、第22回大阪薬科大学市民講座〔10月28日(土)開催予定〕は、会場を「本学」から学外の「高槻現代劇場」へ移すこととなり、次年度以降も秋の開催分を学外に設けたいと考えております。

また、演題・講師については、下記のとおり予定しておりますので、ご期待ください。

写真上(円内)は大阪大谷大学薬学部教授 谿 忠人先生
写真左は大阪医科大学薬理学教室教授 宮崎 瑞夫先生

大阪薬科大学市民講座のご案内

第21回大阪薬科大学市民講座 (開催済)

日時：平成18年5月27日(土)13:00~16:10

(12:00より受付を開始します)

会場：大阪薬科大学 講堂(講義・実習棟1階)

定員：350名(先着順/申込みは不要ですので、直接大学へお越しください)

受講料：無料

演題/講師：

13:10~14:30 「漢方薬の原料となる植物~漢方薬との上手なつきあい方を含めて~」

大阪大谷大学薬学部漢方医療薬学講座

教授 谿 忠人 先生

14:50~16:10 「高血圧になるしくみとその治療薬のしくみ」

大阪医科大学薬理学教室

教授 宮崎 瑞夫 先生

第22回大阪薬科大学市民講座 (予定)

日時：平成18年10月28日(土)13:00~16:10

(12:00より受付を開始します)

会場：高槻現代劇場 中ホール(文化ホール地下2階)

定員：600名(先着順/申込みは不要ですので、直接会場へお越しください)

受講料：無料

演題/講師：

13:10~14:30 「糖尿病について」

大阪医科大学第一内科 教授 花房 俊昭 先生

14:50~16:10 「喘息治療のGOAL」

高槻赤十字病院呼吸器・アレルギー

内科部長 安場 広高 先生

お問い合わせ：

〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4-20-1

大阪薬科大学市民講座委員会

TEL (072) 690-1019 (入試・広報課)

FAX (072) 690-1018

URL <http://www.oups.ac.jp/>

平成18年度入試結果・平成19年度入試概要

■平成18年度 入試結果

入試種別	AO入試 (A方式)			公募制推薦入試 (S方式)			センター試験利用入試 (C方式)		
	募集人員	10			60			30	
性別	男	女	計	男	女	計	男	女	計
志願者	第一次選考 17	第一次選考 17	第一次選考 34	103	255	358	257	363	620
受験者	第一次選考 17	第一次選考 17	第一次選考 34	102	254	356	257	363	620
合格者	第二次選考 5	第二次選考 3	第二次選考 8	24	88	112	85	131	216
入学者	5	3	8	14	43	57	4	5	9

※ 第一次選考は書類審査・適性確認

※ 第二次選考は模擬講義・面接

■平成19年度 入試概要

入試種別	公募制推薦入試 (S方式)	指定校制推薦入試 (R方式)	センター試験利用入試 (C方式)
募集人員	60名	50名	20名
出願開始日	平成18年11月1日(水)	平成18年11月1日(水)	平成19年1月5日(金)
出願締切日	平成18年11月7日(火) 消印有効 平成18年11月8日(水) のみ持参可	平成18年11月7日(火) 消印有効 平成18年11月8日(水) のみ持参可	平成19年1月17日(水) 消印有効
入学試験日	平成18年11月11日(土)	平成18年11月18日(土)	平成19年1月20日(土) 平成19年1月21日(日)
合格発表日	平成18年11月22日(水)	平成18年11月22日(水)	平成19年2月16日(金)
入学手続締切日	1次 平成18年12月8日(金) (2段階方式) 2次 平成18年12月22日(金)	平成18年12月13日(水) (一括方式)	1次 平成19年2月23日(金) (2段階方式) 2次 平成19年3月23日(金)
試験場	本学	本学	
選考内容 (時間・配点)	<p>【調査書】 150点 (理科、外国語の評定平均値各25点、 数学、全体の評定平均値各50点)</p> <p>適性確認</p> <p>【理科】 75分 150点 化学Ⅰ、生物Ⅰ から1科目を選択する</p> <p>【外国語】 60分 100点 英語Ⅰ 英語Ⅱ リーディング ライティング</p>	<p>【推薦書】</p> <p>【調査書】 全体の評定平均値が3.7以上 の者 理科は、「化学」を履修し ている者</p> <p>【面接】</p>	<p>センター試験利用科目</p> <p>【理科】 200点 化学Ⅰ、生物Ⅰ、物理Ⅰ のうち最高得点科目を採用 し、それを2倍する</p> <p>【外国語】 英語(リスニングを含む) 200点 ※記述式(200点満点)と リスニング(50点満点)の合 計得点を200点満点に換算 する</p> <p>【数学】 数学Ⅰ・数学A 100点 数学Ⅱ・数学B 100点</p> <p>本学の個別学力検査等は実施しない</p>
判定	適性確認等及び 提出書類を総合して判定する	面接の結果及び 提出書類を総合して判定する	センター試験の成績及び 提出書類を総合して判定する
入学検定料	35,000円	35,000円	20,000円
備考	現役に限る	専願制/現役に限る	

一般入試 I (F方式)			一般入試 II (G方式)			帰国生徒特別選抜入試 (K方式)			合計		
100			100			若干名			300		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	合計
246	347	593	505	608	1,113	0	0	0	1,128	1,590	2,718
241	333	574	437	506	943	0	0	0	1,054	1,473	2,527
117	185	302	161	187	348	0	0	0	392	594	986
44	58	102	72	73	145	0	0	0	139	182	321

一般入試 I (F方式)	一般入試 II (G方式)	帰国生徒特別選抜入試 (K方式)
80名	90名	若干名
平成19年1月5日(金)	平成19年1月5日(金)	平成18年10月26日(木)
平成19年1月23日(火) 消印有効 平成19年1月24日(水) のみ持参可	平成19年2月2日(金) 消印有効 平成19年2月3日(土) のみ持参可	平成18年11月2日(木) 消印有効
平成19年2月1日(木)	平成19年2月9日(金)	平成18年11月11日(土)
平成19年2月7日(水)	平成19年2月16日(金)	平成18年11月22日(水)
1次 平成19年2月14日(水) (2段階方式) 2次 平成19年3月23日(金)	1次 平成19年2月23日(金) (2段階方式) 2次 平成19年3月23日(金)	1次 平成18年12月8日(金) (2段階方式) 2次 平成18年12月22日(金)
本学・駿台予備学校大阪南校・ 広島国際会議場・高松商工会議所会館	本学・駿台予備学校大阪南校	本学
[理 科] 90分 100点 化学(化学Ⅰ、化学Ⅱ 「選択分野を含む」) 生物(生物Ⅰ、生物Ⅱ 「選択分野を含む」) から1科目を選択する	[理 科] 90分 100点 化学(化学Ⅰ、化学Ⅱ 「選択分野を含む」) 生物(生物Ⅰ、生物Ⅱ 「選択分野を含む」) から1科目を選択する	適性確認 [理 科] 75分 150点 化学Ⅰ、生物Ⅰ から1科目を選択する
[外国語] 75分 75点 英語Ⅰ 英語Ⅱ リーディング ライティング	[外国語] 90分 100点 英語Ⅰ 英語Ⅱ リーディング ライティング	[外国語] 60分 100点 英語Ⅰ 英語Ⅱ リーディング ライティング
[数 学] 75分 75点 数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学A 数学B(数列、ベクトル)	[数 学] 90分 100点 数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学A 数学B(数列、ベクトル)	[面 接] 学習意欲、日本語能力を確認する 棄学を修める上で必要な分野を 試問する
[調査書] 150点 (理科、外国語、数学の評定平均値 各25点、 全体の評定平均値 75点)		
学力試験等及び 提出書類を総合して判定する	学力試験及び 提出書類を総合して判定する	適性確認、面接の結果及び 提出書類を総合して判定する
35,000円	35,000円	35,000円
旧課程履修者に対する経過措置は行わない	旧課程履修者に対する経過措置は行わない	

●同窓会事務局からのお知らせ●

■年会費自動払込制度

郵便貯金自動払込制度にご協力頂き、ありがとうございます。申込みを済まされた方の平成18年度年会費は、5月1日(月)に自動払込になりました。同窓会事務局では、会報発送の時点で「納入済み」として、処理させていただきましたので、何卒ご了承下さい。

なお、新たに自動払込制度にご協力頂ける方は、事務局までご一報下さい (FAX 070-690-1099、緊急時は大学 TEL 072-690-1000)。また、お近くの郵便局でも申込み手続は可能です (同窓会の振込用紙の口座番号が必要)。申込みをされた方が住所変更等のため、万一住所不明になったときは、自動払込を中止させていただきますので、ご了承下さい。

■年会費納入について

当該年度以前に遡って、年会費を納入することは

できませんので、ご注意下さい。

■同窓会名簿2003.2版 第3回追補訂正版

(価格：500円)

平成17年3月卒業生(第52期生)名簿と第2回追補訂正版の校了後から平成18年3月31日までに本部宛に届きました変更届をまとめたものです。同封の振込用紙にてお申込み下さい。

■同窓会名簿2003.2版(価格：4,500円)はまだ在庫がございます。

ご希望の方は、直接事務局まで申し込みください。ただし、頒布は会費納入者に限らせて頂いておりますので、今年度の年会費も必ず納入して下さい。

■会員の住所変更などは、FAXの他、e-mailで同窓会事務局に連絡頂いても結構です。

(同窓会事務局

e-mail : dyd@ares.eonet.ne.jp)

大阪薬科大学同窓会 補助金規定

- (1) この規程はクラス会の発展の為、クラス会に給付する補助金について定める。
- (2) 4月1日より翌年3月31日までに納入された年会費に対し当該年度の補助金として翌年度各クラス幹事に支払う。
尚平成7年卒業生より補助金は当該年度の補助金としてそれぞれの幹事に10年分割にて支払う。
- (3) 支払い期限は3月31日までとし次年度分には繰り入れない。
- (4) 補助金は幹事から支払請求(別紙会計報告書を提出)によって本部記録をもとにして幹事会又

は総会にて支払う。原則として本部より郵送はしない。

- (5) 補助金を受領される幹事は、当該年度の年会費が納入済であることとする。
- (6) 補助金は納入年会費に対し20%とする。

附 則

- ①この規程は昭和55年9月27日より施行する。
- ②昭和59年3月17日(10)項追補。
- ③平成6年1月22日一部改正。
- ④平成10年7月26日一部改正。
- ⑤平成16年5月16日一部改正。

大阪薬科大学同窓会物故者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます (H18.4~H18.9)

T15 中島 静	S 9 竹林たま子	S16/12 森 一枝(柴田)	S30 岡保 和子(上田)
S 4 佐藤 敏子(飯田)	S 9 黒川 貞子(武村)	S16/12 西巻喜代子(島津)	S31 浅田 眞吾
S 4 西川美恵子(馬場シメ)	S 9 島田千代子(西村)	S16/3 納富恵美子(石川)	S31 山本 孝
S 4 大石 登美(水野)	S10 木村伊那子(木田)	S16/3 片川 芳子	S31 春元 節子(後川)
S 5 井上 すみ	S10 菅波 孝子	S16/3 根本 泰江(菱川)	S31 鈴木 敬一
S 5 太田 鞠子	S10 鈴木 只子(中山)	S16/3 村中 澄枝(三宅)	S33 山本 泰子(万谷)
S 5 斉藤 正栄(小笹)	S10 原 幸子	S17 中山百々代(村上)	S39 大村大四郎(細川)
S 6 野口とみ(小野沢)	S11 越智ツル工	S21 原 敏子(井筒)	S39 松谷 亮子(喜多)
S 6 羽室貞子(波多野)	S11 岡田 貞子(宗田)	S22 児玉 節子(堀江)	S40 北川 愷
S 6 古賀アサ子(速水)	S11 高木 幸子	S22 塩谷節子(河原林)	S42 上坂 恭子(宮川)
S 7 見満チヨ子	S11 水島 都	S22 河崎亀代子(中井)	S45 寺尾 庸明
S 7 葛野 志保(野条)	S12 杉本 美代(辻)	S22 西村喜美子	S48 岩崎 節夫
S 7 和田 悦	S12 久武 婦美(吉阪)	S23 的場 啓子	S50 久保 栄治
S 7 深草 政子(渡辺)	S13 森田 貞子(林)	S23 浅田和喜子(和田)	S51 川中 尚良(安川)
S 8 大塚美津子(岩瀬)	S13 吉川小夜子	S23 柳原ツヤ子	S55 岡本 慎二
S 8 清水 和気	S14 井口千寿子(今永)	S25 平松 昌(平松)	S58 中村 恒温
S 9 池田 富(有川)	S14 三室 代子(島橋)	S25 水原 緑(森川)	S58 山下 洋子
S 9 平井 八重(木田)	S15 藤本 千恵	S27 吉田 博	H 5 柿木 浩志

表紙の説明

「歴史の町」(富田・清鶴酒造)

あまり知られていませんが、富田は、昔は池田、伊丹とともに「北摂三銘酒」のひとつとして知られた有名な酒づくりの町なのです。阿武山系からの豊かな水、淀川水系の米、丹波あたりからの労働力と酒造りに必要な三拍子が全てそろった土地で、最盛期には24軒の酒屋が軒を並べていました。江戸末期には十軒弱に減り、現在では二軒がおいしい地酒を造り続けています。表紙絵に描かれている清鶴酒造は、安政3年(1856年)の創業で、建物は、建てられてから100年を超えています。100%井戸水で造る地酒は、シャープな口当たりでなかなかのものです。私は地ビールの方が気に入っていますが… (森本政文)

森本政文氏：1961年大阪府茨木市生まれ。日本画家。京都市立芸大美術研究科(大学院)修了。創画会友。

美術展・個展のお知らせ

第33回創画展

2006年10月17日～31日 東京都美術館
2006年11月2日～18日 京都市美術館(月曜休館)
2006年11月21日～26日 愛知県美術館ギャラリー

個展

2007年4月20日～26日 近鉄阿倍野アートギャラリー
2007年10月 松坂屋本店第三美術画廊
2007年11月14日～19日 上野松坂屋美術画廊
2007年11月28日～12月4日 静岡松坂屋カトリア
2007年12月12日～18日 高槻松坂屋美術画廊

*富田の造り酒屋については本誌23頁をご参照下さい。

幹 事 等 異 動

(H.18.9.20現在)

	辞 任		新 任					
常任幹事	S58	川井 雅子	S40	遠藤 郁子	S48	新田 春美	S50	森 麻子
クラス幹事	S22	天津 孝子	S22	和田 敦子				
	S22	太田 淑子	S22	天野 智子				
	S31	浅田 眞吾						
滋賀県支部予備幹事			S62	丹波 卯子				
滋賀県支部予備幹事			H 8	大西 延明				
相談役			S29	梶川 益美				

平成18年度母校学位記授与式のご案内

平成19年3月17日(土)、平成18年度大阪薬科大学学位記授与式が行われます。恒例の母校「卒業式」へのご招待は、来年も行います。該当学年は昭和26年、27年、29年及び52年卒業の方々です。特に52年卒の皆様には多数のご参加をお願いします。

追って、詳細をご通知申し上げます。

たらお送りいたします。ご不明の点がありましたら、同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

TEL&FAX 072-690-1099

平成19年度同窓会総会のご案内

日時 平成19年5月20日(日)

場所 ザ・ペルタ北浜

詳細は次号でお知らせします。

母校100周年に寄せて—写真集— 配布について

母校の100周年を記念して発行いたしました標記—写真集—は好評で、多くの方からお礼状をいただきました。

その配布については、平成15～18年度間の会費納入者に、いまも配布しております(詳細省略)。この間未納の方で記念誌ご希望の方は平成18年と19年の2年間に会費納入いただき、お申し出くださいまし

編集後記

近頃、疲れ目が気になっています。頭痛、肩こりもひどく、心なしか視力も悪くなったような気が…。いわゆる、眼精疲労でしょうか。そこで、自分なりに調べてみた中から“プチ情報”を少し。

眼精疲労の原因の6割がドライアイで、ドライアイとは、パソコン、空調、ストレス、加齢等で涙の基礎分泌(約0.6ml/日)が減少している状態をいい、近年は若い世代を中心に増加している症状です。放っておくと、視力低下、更なるストレスにもつながります。

ドライアイを改善し、原因となるストレスを軽減する方法は色々ありますが、涙を流すというも簡単な方法の一つです。涙を流すことで、ロイシン—エンケファリンという、脳内モルヒネの一種が分泌され、ストレスを緩和してくれるそうです。同じ涙でも「刺激による涙」ではなく、「感情的な涙」それも、嬉し涙より、思いっきり泣いた時に流す涙の方が、ストレス解消効果が大きく、持続するとか。年を重ねれば、涙をぐっと我慢しなければならぬ事も多いですが、たまには大泣きするのもいいのではないのでしょうか?

編集のお手伝いで目を酷使した今日は、“泣ける音楽”でも聴いて、心身ともにゆっくりリラックス。たっぷりの涙で目を潤すことにしよう。

お陰様で、71号も無事発刊する事ができました。どの学年の方にも、興味を持って目を通して頂ける紙面作りを目指しておりますが、いかがでしたでしょうか? 次号もまた、皆様からのたくさんの投稿お待ちしております。(Y)



大阪薬科大学同窓会報

第71号 2006年10月10日発行

発行者 大阪薬科大学同窓会
会長 平澤 一男
〒569-1094 高槻市奈佐原 4-20-1
TEL & FAX: 072-690-1099
e-mail: dyd@ares.eonet.ne.jp

企画・編集 大阪薬科大学同窓会広報委員会
(委員長) 武枝 敏之 (S45)
(委員) 増井 豊 (S30) 畑 秀子 (S48)
藤井 政善 (S49) 藤波 美津子 (S50)
吉村 由香里 (S62)

印刷・製本 株式会社 盛進堂
〒569-1121 高槻市真上町1-1-18-1F
TEL: 072-682-0800 FAX: 072-682-0765
